

10・3 京大処分 撤回集会へ

写真右上…6月25日のタテカンフェスの様子

写真左…大学祭規制を見事撤回させた。写真は去年の学祭看板



自由を勝ち取れ

写真右下：18年4月27日の立て看板禁止阻止の強打い解放集会

広大生のみなさん。後期が始まりました。今、京都大学では京大当局による様々な学生団体への弾圧から京大生の怒りが沸騰しています。特に、10月3日（木）には、京大生3名の無期処分に対して抗議集会が行われます。広大生は、京大生に連帯して10・3京大集会に駆けつけよう！

◆京大生3名への無期停学処分

京都大学当局は、9月10日に新たに3学生を「無期停学」処分としました。

その内容は、京都大学の言うところの「学内にいる不審者（＝京都大学の学生弾圧に抗議してきた学生）を職員が十数人で羽交い締めにして警察に逮捕させようとしたことに対して、京大生3人が『おかしい！』と抗議し、妨害したこと」だということです。

しかも、今回の「処分」は今までの処分と一線を越え

ています。「職員の職務の正当性」が大前提とされ、教授による当該学生への「聞き取り調査・弁明の場」でも「お前は反省していない」「自分の問題行為への認識が甘い」とあらゆる事が「無期停学」の根拠にされています。

◆京大生の運動は盛り上がる！

しかし、この処分は「異次元の処分基準緩和（山極バズーカ）」と言われ、盛り上がる京大生の闘いに追い詰められた

処分撤回！「学生の本分」をお前が決めるな！

10・3総人広場集会

❖10月3日（木）12時～

❖吉田南キャンパス総合人間学部広場

主催：京都大学全学自治会 執行委員会

※同学会 Twitter

などでご注目を！



広島大学学生自治会

委員長 森田 寛隆
hiro dai86@yahoo.co.jp
http://hiro dai86.blog.shinobi.jp/



山極総長のあがきです。

京大生のタテカン闘争は、大学の規制・撤去を打ち破って今も強固に続けられています。

また、学生の自主運営で開催されてきた11月学際に対して、京大当局は、日程短縮、全面禁酒を打ち出してきました。しかし、大学祭実行委員会が中心となり、5000人を越える規制反対の票を集め規制を撤回させています。

今回の京大生3学生への処分は、学生の活動を守ろうとするあらゆる運動に適応可能です。京大当局は、この数年間、学生との一切の対話を拒否し、管理と処分で学生をしめつけてきました。特に、処分は学生を黙らせる最後の手段＝伝家の宝刀として存在してきました。処分は個別個人にかけられてきたから有効でした。しかし、今全京大生が処分は全京大生の問題と認識し始め、処分が京大生全体の問題として取り組もうとする挑戦が始まりました。全京大生が処分に反乱したら絶対に学生の闘いを止めることはできません。これは全国大学での学生の自由を勝ち取る最先端な闘いです。10・3京大処分撤回集会に集まろう。

◆京大生と連帯し、広大の自由を勝ち取ろう！

広大で起きている事は京都大学とまったく同じ事です。

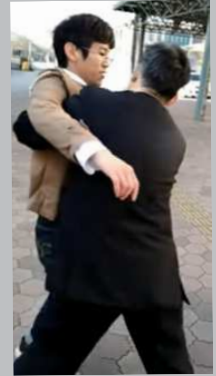
越智学長が得意げに語る「グローバル大学化」とは、けっきょく国策や企業の利益になること徹底的に進めているだけです。学生の自主・自由、学習・研究、学生・学生団体の権利などは置いてきぼりどころか、ますます縮小・規制されています。今年前半期のパワハラ問題（コラム参照）

19年度前半期、広大職員による主な暴挙

▼3月末から学活Gによる太田君へのパワハラがはじまる。パワハラ理由も2転3転。いまだ明確な理由は言わない。

▼4月4日、学活Gは仲井君と森田君が田中恵一、森川泰彦職員に「体当たり」「暴行」したとでっち上げて、5月22日、警察に逮捕させた。2人は5月31日、無実・不起訴で釈放された。実際は学活Gが2人に暴行。

当日の職員による暴行の動画はQRコードから見れます。→ → → →



▼6月4日、学生が片岡総務課・リスク担当職員に、太田君へのパワハラと不当逮捕の件の釈明と謝罪を要求すると「今日は何の日か知っているか?」「1989年6月4日（天安門事件の日）」「小銃で撃たれんかっただけでもマシ」「戦車にひかれんかっただけでもマシ」と発言。不当逮捕、パワハラを居直る！

から、ビラ規制、新歓規制、自転車バリケード強化など数えればきりがありません。しかし、いつの時代も学生こそが、大学を社会を変える存在です。香港の学生は、逃亡犯条例撤廃を勝ち取り5大要求を掲げて民主化を闘い取るために行動しています。広大生は10・3京大集会に駆けつけよう。京大3学生処分を撤回させ、全国学生、広大での学生の自由を勝ち取ろう。

11・3日比谷野音 全国労働者総決起集会 改憲阻止！1万人行進



日時：11月3日（日）12時開始 場所：日比谷野外音楽堂（東京）

※参加したい方は自治会まで連絡ください。※集会の詳細はQRコードで



11月3日、東京・日比谷野外音楽堂で「全国労働集会&改憲阻止！1万人行進」が開催されます。安倍首相は9月の安倍改造内閣発足において、改憲を「必ず成し遂げる」（9月11日）を語っています。米中対立、保護主義が強まる中で、日本の戦争国家化のための改憲が本格的に問題になります。また、本集会は安倍政権の雇用破棄に対して「非正規だけの社会にさせない」として全国の労働者が集まる大集会です。さらに、韓国から民主労総、アメリカで数万のストをおこなった教育労働者など、各国の労働者が来日し、国際連帯集会としても開催されます。特に改憲・戦争を阻止するためにも、煽られている韓国への排外主義を乗り越えることは重要です。戦争への道を止めよう！11・3集会に集まろう。